

2026 年 3 月 31 日

2026-27 年度委員会方針

職業奉仕委員長 田代行孝

1. 当委員会の活動とロータリーにおける職業奉仕の課題について

当職業奉仕委員会では、2020-21 年度に「しあわせの島（くに）ふくしま職業宣言」を策定し、2023-24 年度には阿久津肇 P G を講師に招いて「職業奉仕寛容塾」開講するなど、職業奉仕の理解を深める活動を実施してきました。

一方、ロータリーにおける職業奉仕については、伝統的な理念の維持と、変化する社会環境や国際ロータリー（以下「RI」という）の方針への適応の両立という課題があります。

ロータリーの職業奉仕は「精神的理念」の中核ですが、他の奉仕部門に比べて、その内容が抽象的であるため、十分な理解を持たない会員が多いのが実情です。また、RI において職業奉仕が「行動規範」として整理され、具体的な活動が「社会奉仕」の一部とみなされる傾向が強まる中で、職業奉仕独自の意義（高い倫理基準の実践など）が矮小化される懸念が生じています。

2. 職業奉仕の意義

ロータリーの職業奉仕（Vocational Service）は、ロータリアン一人ひとりが、自身の職業を通じて高い倫理観と高潔さをもって働き、その知識やスキルを地域社会や世界のために役立てる活動です。会員は自らの専門知識や職業的スキルを活かして、地域社会のニーズに応えるプロジェクトを実施することが求められます。

職業倫理は、自身の職業において常に心がけるものであり、職業スキルは、個人やクラブが企画する奉仕活動において活かすべきものです。職業奉仕においては、「職業倫理という理念」と「職業スキルを活かした実践」どちらも大切です。

3. 2026-27 年度の運営方針について

2026-27 年度において、当委員会では、職業倫理の高揚を図るとともに、会員及びクラブの職業奉仕の実践を支援することを目標とし、具体的な運営方針は以下の通りです。

- (1) ロータリークラブの職業奉仕について、ガバナーの意向を真摯に受け止め、職業奉仕の理念を推進する。
- (2) 職業奉仕に関するセミナーを開催して職業倫理の高揚に繋げる。
- (3) 会員及びクラブの職業奉仕の実践を支援する。
- (4) VTT（職業訓練チーム）に関する調査研究を行う。

まとめ

ロータリーの目的は、有意義な職業や諸活動の基本は、「他人を思いやり他人のためになる」(チェスリー・ペリー) ことを奨励することであり、その先に職業倫理と職業奉仕の実践があります。職業奉仕は、職業を通じて社会に貢献することであり、職業奉仕の実践が結果として職業倫理の高揚に繋がるものと考えております。

次年度、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

以上